

学術ポータル担当者研修2011を振り返って

松原 恵

文部科学省研究振興局情報課

学術基盤整備室大学図書館係 行政実務研修生

(東京大学附属図書館)

一年前の今頃、思ったこと

- 最初のコマから、岡本さんのパワーに圧倒された！
- ついていけるかやや心配。
- 研修って知識詰め込み型しかよく知らない。グループワークってどんな風にやるの？
- 他の受講生とも仲良くなれるだろうか...
- でも、なんかすごそう。生還できたら少しパワーアップできるかも！

そしてノンストップの3日間が始まる...

今日お話しすること

- 自己紹介と受講の動機
- 昨年度の風景
- 怒濤の三日間を終えて、得たもの・感じたこと
- おわりに

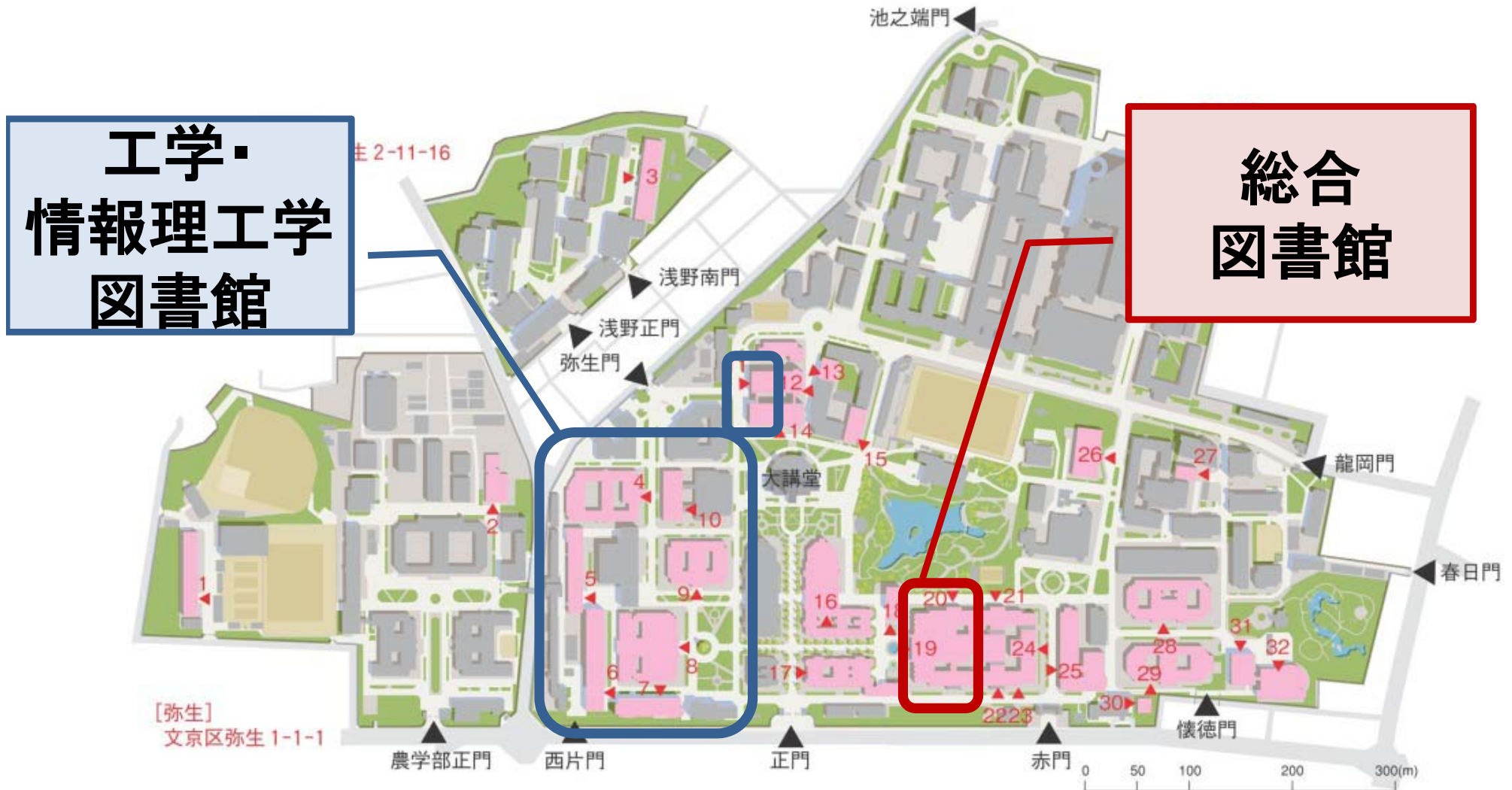
自己紹介と受講の動機

東京大学附属図書館マップ

抜粋版

本郷キャンパス

本郷キャンパス図書館(室)配置図 LOCATION of LIBRARIES in HONGO CAMPUS
TEL.03-5841-XXXX(内線番号下4桁)ダイヤルイン



工学・
情報理工学
図書館

総合
図書館

自己紹介①

- 2008年4月
 - 東京大学附属図書館情報サービス課
利用者サービス係

総合図書館、平日平均入館者数約3000人。
サービスの最前線！

- 2010年4月
 - 東京大学工学・情報理工学図書館
情報総務チーム

工学系・情報理工学系にある
11の図書室の庶務、渉外的な部署。
広報や講習会の仕事も。

受講時の問題意識

- 東京大学の学位論文データベースたち
- 東京大学の図書館ウェブサイトたち
 - [見てみる](#)
- 電子ジャーナルのこと

図書館はウェブ上のサービスと切り離せない。
企画立案できるようにしたい！

自己紹介②

- 2012年4月
 - 文部科学省研究振興局情報課
学術基盤整備室大学図書館係
(行政実務研修生)

何をやっているところ…??

(cf. 「大学の図書館」 2012.4)

ご紹介

最近の学術情報
流通政策の動向
がわかる！

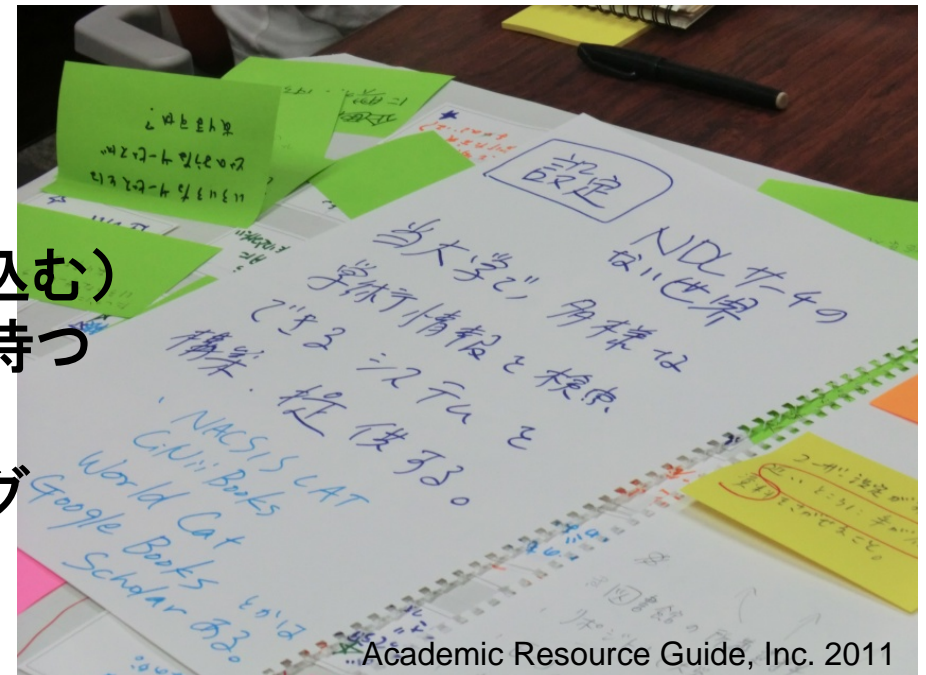
- **学術情報の国際発信・流通力強化に向けた基盤整備の充実について**
 - 科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会 学術情報基盤作業部会 2012.7
 - http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/toushin/1323857.htm
- **大学図書館の整備について(審議のまとめ)ー変革する大学にあって求められる大学図書館像ー**
 - 科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会 学術情報基盤作業部会 2010.12
 - http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/toushin/1301602.htm
- **大学図書館における先進的な取り組みの実践例ー大学の学習・教育・研究活動の質的充実と向上のためにー**
 - 文部科学省 2011.12
 - http://www.mext.go.jp/b_menu/shuppan/sonota/attach/1314099.htm
- **学術情報基盤実態調査**
 - 文部科学省
 - http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa01/jouhoukiban/1266792.htm

昨年度の風景...

<研修写真は非公開>

昨年度のグループ討議(6班)

- グループのモデルサービス:次世代総合目録(NDLサーチ)
- ミッション:
 - 我々のプロジェクトチームは次世代総合目録サービスについて企画したが、学内合意がとれなかった。説得できるように企画を練り直せ!
- グループ討議の流れ:
 - ① このサービスの現状理解
 - ② 課題把握
 - ③ サービス企画を練る
(仕様として提案できる形に落とし込む)
 - ④ 最終プレゼンにて提案し、評決を待つ
- 進め方:
 - グループ内でのブレインストーミング
 - ファシリテータからの助言
 - 発表での質疑・コメント
 - 他グループからの突っ込み



N D Lサーチ

Vision

あらゆる学術情報が
見つかる+使える

Mission

学術情報を探す窓一本にする。
学術情報を結ぶ。

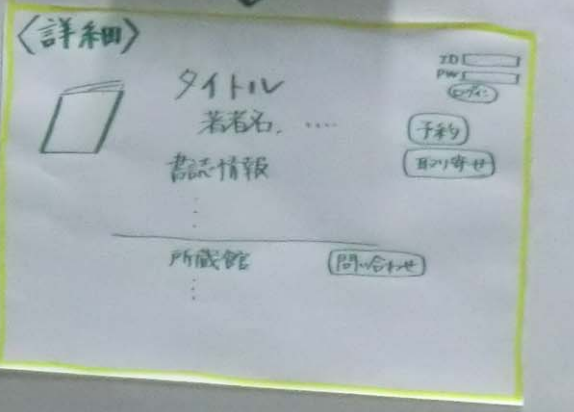
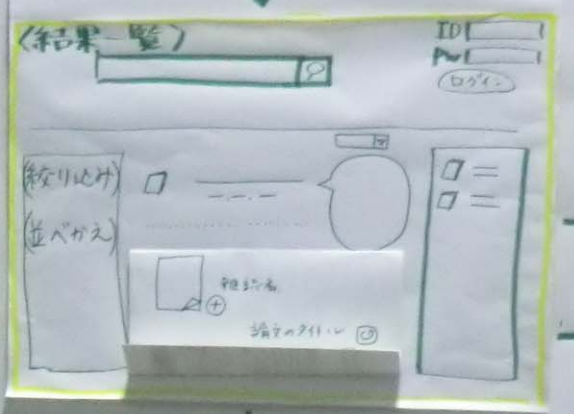
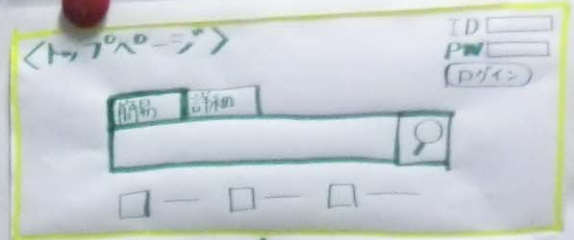
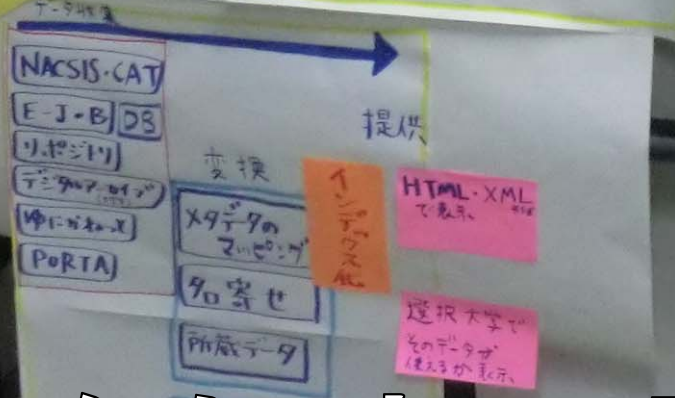
何をやるか
各大学のOPAC
↓
集約!

どうやるか?

インセンティブ (ユーザ側)
・圧倒的な規模!!
・そのせみんのまじもの
うに手に入るものが出来る

- ヒト: 参加館スタッフ (教大でコアスタッフ)
- モノ: 外部委託 (ハードウェア管理運用)
- カネ: 参加館の現OPAC運用費用を充たす

データの流



仕様書の表

→ 詳細検索

デジタルコンテンツの

→ 本文

→ おすすめ資料

学術ポータル利用規約

本ポータルは、学術情報提供を目的として運営されています。

本ポータルを利用するにあたっては、以下の事項をご確認ください。

1. 本ポータルは、学術情報提供を目的として運営されています。

2. 本ポータルは、学術情報提供を目的として運営されています。

3. 本ポータルは、学術情報提供を目的として運営されています。

4. 本ポータルは、学術情報提供を目的として運営されています。

5. 本ポータルは、学術情報提供を目的として運営されています。

6. 本ポータルは、学術情報提供を目的として運営されています。

7. 本ポータルは、学術情報提供を目的として運営されています。

8. 本ポータルは、学術情報提供を目的として運営されています。

9. 本ポータルは、学術情報提供を目的として運営されています。

10. 本ポータルは、学術情報提供を目的として運営されています。

昨年度 of 最終発表 (6班)

怒涛の三日間を終えて...

研修直後の感想

無我夢中の3日間。

時間管理が厳密。
てきぱきやらないとついていけない！

これまでの経験や知識を体系化できた。
新しい発見もたくさんあった。

具体的な新しい知識をこれから自分で勉強していかななくては。

ワークショップの方法も学べた。
自分でも企画してみたい！

アイデアややる気もらった。企画実現のための道筋が、少しわかってきたかも？

コーディネータ・ファシリテータの
エネルギーに感染する。

とはいえ、もう少し頑張って、仕様書らしい
仕様書が作れたらよかった。

やけっぱちで臨んだ最終プレゼン。
見せ方次第でウケは狙えるけど、結局は
内容が練れていないと説得できない。

大規模論文DBや次世代総合目録などは
誰かがやってくれるからいいや、と思って
いたけれど...自分たちを取り巻く大きな世界を見るのは大事。

大学図書館職員はこんなに熱くなれるのか！

受講後の1年間を振り返って

- 知り合いが増え、情報を得やすくなった
- 新しいものに物怖じしなくなった
- 学術情報提供・発信サービスを概観できるようになった

- システム担当者に要望を伝えやすくなった
- システム開発プロセスについての理解が進んだ

- 周囲と相談しながら・合意を取りながら進めることの大切さを実感している

他の受講生の声 ~Facebookで聞いてみた。

- 学内合意を得るのに苦労しながらも、JAIRO Cloudを利用して**機関リポジトリの運用を開始**。名古屋・NII両会場の研修成果が参考になる。
- 研修を通して人に伝えることの難しさ、そのための準備の大切さ、そして**伝わったときの喜び**を改めて感じた。
- Facebookでみなさんのコメントを読むたびに、いい刺激を受ける。
- 図書館公式Twitterを始めた。ツイッターならではの、**ダイレクトな反応**があって楽しい(プラス、ドキドキ)。
- 実際にそのシステムに深く関わっておられる**講師の方が**、グループ討議にもガッツリ参加され、意見を交わすことができたことに驚いた。
- システムやウェブサービスが身近に**感じられた**こともあって、改善点があれば、その担当者(もしくはそれがわかる人)にどう伝えたら良いのか、という考え方ができるようになった。

おわりに

学術ポータル担当者研修のススメ

- 「研修の成果」について
 - 即効性？じわじわ系？
- 出会える研修
 - 生きた情報が得られる
 - 研修受講期間中だけでなく、その後も。
- 目からウロコ、な講義の数々
 - 見つける力、**見つかる力**（by大向先生）
- **図書館サービスとは何か、あらためて考えるきっかけ**となる研修
 - コンテンツ・コンテンツの発見・コンテンツの活用...

今年度受講生の皆さまへ

- 3日間をみのりあるものにできるかは、受講生の皆さんにかかっています。
- 時間が短いので、とにかく集中。遠慮は無用。
- 昼休みは大事。グループの人と深く語る。
- 懇親会も大事。グループ以外の人とも深く語る。
- 受講後は職場で共有を。
 - 図書館以外の人にも伝えられるとよいのでは、と思います。

で、学術ポータルって何？

**ご清聴ありがとうございました。
3日間を熱く駆け抜けてください！**